科目名 Subject	アイデア創発 Idea Co-create		教員名	大野　淑子	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
	△	◎	◎	◎	○
科目の概要	「考える力」を育む様々な手法を用いて、自分の考えや思いを表現したり、チーム発想や個人発想でアイデア創発していくノウハウを身につける。実際に企業等と連携し、アイデアを提案して社会や企業のためになる何等かの実践に取り組むプロセスを経験することで、アイデア創発の楽しさや価値を理解する。				
授業の目標	身近にある問題や課題に対して、理由を考えたり意見を述べることが出来る。ディプロマポリシーに掲げている、思考力、判断力、表現力、主体的行動力等をトータルに鍛え、社会に出てもアイデア創発や提案が出来るようになる。				
時間外学習 （予習・復習）	様々な社会情勢や社会問題だけでなく身近な問題に対しても考えを持つよう心がけ、意見や疑問を持つことを習慣づける。学んだ視点を日常的に意識し日々のニュースを見て社会の動きに目を向ける。（期間中の日常生活15時間以上）				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	教員作成資料・レゴ®シリアスプレイ®メソッドと専用教材他			
	使用設備・備品	ＰＣ等			
	参考文献	「アイデア・スイッチ」　石井力重、日本実業出版社、２００９			
評価方法	平常点30%、各回課題50%、ﾚﾎﾟｰﾄ20%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。				
履修上の注意	企業及び地域連携については架空のテーマになる可能性もある。グループワークが多くなるため協調性を持って真面目に積極的に取り組んで欲しい。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション	授業の目的と内容を理解できる	新聞やネットニュースなどを意識して読む。様々な社会問題や身近な問題に対して意見を持つよう意識する
第２回	アイデア創発の手法① 発想の特性について学ぶ	アイデアワークショップ アイデアの出し方が理解できる	新聞やネットニュースなどを意識して読んで考えをまとめる
第３回	アイデア創発の手法② ブレインストーミングを学ぶ	アイデアワークショップ ブレインストーミングができる	新聞やネットニュースなどを意識して読み考えをまとめる
第４回	アイデア創発の手法③ アイデアスケッチを学ぶ	アイデアワークショップ アイデアスケッチができる	新聞やネットニュースなどを意識して読み考えをまとめる
第５回	レゴ®シリアスプレイ®メソッドと専用教材を使用して課題に取り組む（イマジネーションゲーム）	戦力的イマジネーションを使って新商品を考えることができる	新聞やネットニュースなどを意識して読んで考えをまとめる
第６回	レゴ®シリアスプレイ®メソッドと専用教材を使用して課題に取り組む（共有モデル）	超高齢社会に向けて誰もが美しく齢を重ねられる美齢の視点でアイデアを考えることができる	新聞やネットニュースなどで高齢者に関しる記事を読み、自分にできることをまとめる
第７回	企業及び地域連携①	企業及び地域課題を研究し取り組みを理解できる	新聞やネットニュースなどを意識して読み考えをまとめる
第８回	企業及び地域連携①	アイデアワークショップ（アイデア創発の手法を用いることができる）	新聞やネットニュースなどを意識して読み考えをまとめる
第９回	企業及び地域連携①	アイデアをまとめ実践に向けて必要なことを考えることができる	新聞やネットニュースなどを意識して読む。
第１０回	リフレクションカードを使用して課題に取り組む①	グループを作ってチームビルディングを行うことができる	新聞やネットニュースなどを意識して読み考えをまとめる
第１１回	リフレクションカードを使用して課題に取り組む②	グループでテーマを決めてお互いの考え方や生き方を振り返ることができる	新聞やネットニュースなどを意識して読む。
第１２回	企業及び地域連携②	企業及び地域課題を研究し取り組みを理解することができる	新聞やネットニュースなどを意識して読み考えをまとめる
第１３回	企業及び地域連携②	アイデアワークショップ（アイデア創発の手法を用いることができる）	新聞やネットニュースなどを意識して読み考えをまとめる
第１４回	企業及び地域連携②	アイデアをまとめ実践に向けて必要なことを考えることができる	新聞やネットニュースなどを意識して読む。
第１５回	まとめとふりかえり	アイデアの実践をふりかえり評価して今後につなげることができる	授業で学んだことや実践を今後にどのように活かせるか整理する